



成長を実感する2学期でした

今年も残すところ10日余りとなりました。新型コロナウイルスが5類に移行し、制限がなくなった中で、どの学年も多くの人とつながりながら、目的に応じた力をつけてきました。

まず、素敵だと思うのが児童の「会釈」です。今年度、生活運営委員会からの呼びかけがあり、全校児童に定着してきました。会釈は校内でのあいさつです。一歩立ち止まって会釈を交わすことで、互いの様子が見えてきますし、会話も生まれます。また、落ち着いた行動を促すためにも効果があります。まだまだ全校児童が状況に応じて・・・とまではいきませんが、あいさつと会釈の輪がさらに広がるよう今後も取り組んでいきます。

また、修学旅行、宿泊学習、運動会、音楽会など、どの行事でも一生懸命な姿、質の高い内容を見せてくれました。遠足の帰りにバスの乗務員さんが「御庄の子どもはあいさつをよくする。大好きです。」と仰ってくださいました。「外遊びスタンプラリー」「歯と口の健康ビンゴ」「ミッション！あいさつカードをあつめよ」「本のスタンプラリー」など、今年は、各委員会が学校課題を踏まえ、たくさんの活動を企画・運営し、成果を上げました。

学習面について強く感じるのは、授業への集中力です。どの学級も、落ち着いて、意欲的に取り組んでいる様子が見られます。また、朝学で行う「計算チャレンジ」、給食の待ち時間に行う「パワーアップ作戦」、算数では、単元によって形態を変えて授業を行うなど様々な取組を継続してきました。ご家庭の協力もあり、高学年が行う全国、県のテストでは、国語、算数とも全国や県を上回る正答率でした。

「子どもたちは、本当によく頑張っています。」と教職員からたびたび声が上がります。成長への実感が自信となり、次のステップへとつながります。今後も子どもたちの成長を多面的に見取り、価値付け、機を逃さずに伝えていきたいと思えます。今学期も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

たくさんのリクエストに応じて、今年も「御庄ウォークラリー」を生活運営委員会が企画・運営してくれました。各ポイントで楽しいミッションがあり、クリアに向け、縦割り班で協力する姿が見られました。

5つの公園を回ります



班対抗草引き大作戦



今年もじゃんけんぽん



子どもによっては、初めて行く公園もあったようです。ウォークラリーから1か月が過ぎても「ウォークラリーをまたやりたいです。」と1年生が伝えに来てくれました。ご協力いただいた保護者・地域の皆様、ありがとうございました。